

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Hコート 第2試合 本庄総合公園体育館(シルクドーム)

チームA		15 - 24 17 - 18 21 - 11 13 - 8	61	チームB
奈良文化	66			県立熊本商業
奈良				熊本

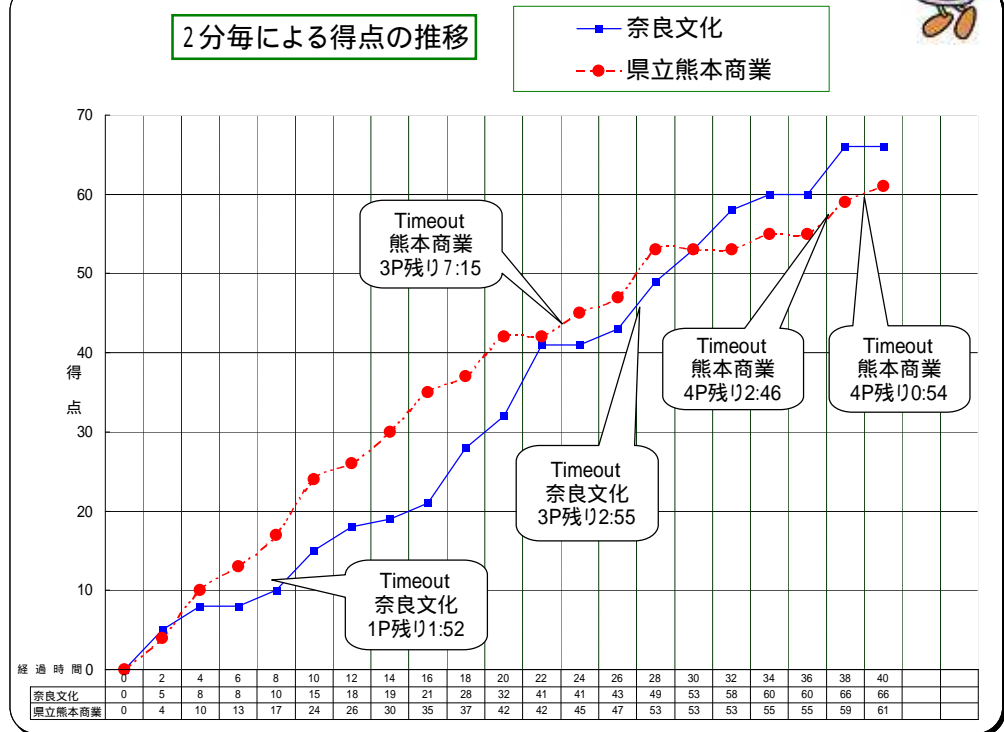
奈良文化

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	高見つかさ	X	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
5	屋敷美沙季	X	14	4	13	1	5	0	0	0	0	5	7	2	10	0	38
6	石川真衣	X	23	0	0	10	23	3	3	4	7	6	4	1	1	0	35
7	森美奈	X	11	0	0	3	7	5	10	2	1	8	3	2	3	1	40
8	谷静香	X	7	2	6	0	1	1	2	3	1	3	0	0	1	0	40
9	高下真央		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	森敦子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	田中佑麻	X	6	0	0	3	5	0	0	2	1	4	1	0	2	0	33
12	長谷川愛		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	新谷有紗		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	上西可奈子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	小田圭海	X	5	1	4	1	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	12
コーチ	川崎弘策									0	4	8					
出場: ×は先発、/は出場			66	7	24	18	43	9	15	12	14	34	16	5	17	1	200
確率			29.2%			41.9%											
																	計 48

県立熊本商業

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	本田奈津美	X	15	0	3	7	11	1	1	0	6	9	5	2	2	0	40
5	大場和	X	13	0	8	6	12	1	1	3	2	6	1	3	0	0	39
6	片岡憂里絵	X	2	0	1	1	6	0	0	5	1	2	1	1	0	0	21
7	楠本美沙紀		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
8	平原薫	X	12	0	1	5	8	2	2	5	5	1	1	1	3	0	22
9	佐藤亜由美	X	4	0	6	2	6	0	0	0	1	1	3	4	0	0	28
10	東沙智代	X	13	3	9	1	3	2	2	4	0	1	4	1	2	1	35
11	島田綾		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	松岡和泉	/	2	0	0	1	6	0	0	1	0	2	1	1	0	0	12
13	大塚未季		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	本田香奈子	/	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
15	中山千花		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	吉野勉									0	3	6					
出場: ×は先発、/は出場			61	3	29	23	52	6	6	19	18	28	16	13	7	1	200
確率			10.3%			44.2%											計 46

2分毎による得点の推移



戦評

昨年2回戦まで、駒を進めた奈良文化に対し7年ぶりの出場を決めた熊本商業が、持ち味の粘り強いディフェンスで戦いに挑む。第1P、奈良文化ハーフコートマンツーマン、熊本商業スリークォーターからのマンツーマンで開始。奈良文化は、#7森を基点としたオフェンスを展開するが、熊本商業#8平原への確実な合わせのプレイで得点を重ね、15対24熊本商業のリードで終了。第2P、両者ともインサイドを中心とした戦いが展開されるも、熊本商業#4本田を中心とした速い攻守の切り替えで奈良文化の追い上げを許さず、32対42熊本商業リードのまま後半へ。第3P、序盤ともに果敢に1対1を仕掛けるも、奈良文化のヘルプディフェンスが効き熊本商業のシュートチャンスが徐々に失われていく。リズムに乗る奈良文化は、#6石川のセンタープレイ、#7森のドライブインにより点を詰めていき、53対53の同点で終了。第4P、焦りの見え始めた熊本商業に対し、奈良文化#5屋敷の連続3P、#11田中の確実なシュートにより引き離しにかかる。熊本商業は、最後まで諦めることなくオールコートゾーンプレスを仕掛ける等、解決の糸口を探るが、奈良文化が逃げ切り66対61で2回戦への進出を決めた。

主審	吉宇田 太一	副審	佐々木 貴子	戦評	高瀬 千鶴子 (埼玉県高体連)
----	--------	----	--------	----	-----------------

3P: スリーポイントシュート, 2P: 2ポイントシュート, FT: フリースロー, OF: オフェンス, DF: ディフェンス, TO: ターンオーバー, ST: スティール, AS: アシスト, BS: ブロックショット